

「藤沢市野球協会」

今年で77才を迎えた「藤沢市野球協会」。この間には様々なエピソードがあったと想像するも協会発足（昭和11年）から35年間（昭和45年）までの写真や資料が乏しく、協会に携わる者としては、当時を知る関係者も少ないため先輩達や協会関係者の活躍状況が覗えないのが悔やまれる。

昭和61年にスタートした、小・中・高校・社会人を一堂に会して試合を行うユニークな「藤沢市野球フェスティバル」や昨年藤沢で開催された「第57回湘南八都市対抗軟式野球大会」は、近隣の11市町村と野球を通じて親睦を深めるなど藤沢の球界のリーダーとして、ボランティア活動を続けている。

現在、少年・社会人軟式野球の約180チーム（約3,000人）が当協会に登録加盟し、毎年3月から11月まで9カ月間に亘り、各大会に熱戦を繰り広げ楽しい野球を満喫している。また、中学の軟式及び高校の軟式・硬式、藤沢市民総体、社会人の県大会などの試合も担い、年間試合数約1,000にも及ぶ。

この中で、小学生を対象に地域密着した「少年野球チーム」の存在は、神奈川県内でも高い評価と実績を得ており、2011年には、プロ野球チームにスカウトされた選手を輩出している。更に、藤沢出身の審判員がプロ野球界で現役として活躍していることは嬉しい限りである。

しかし、少子化及びサッカーの躍進などから「野球」に携わる人がめっきり少なくなり、平成10年（1998年）に藤沢で開催された「第53回国民体育大会 かながわ・ゆめ国体」の軟式野球大会をピークにチーム数や選手数など減少傾向が目立つ。とともに、野球には絶対的な役柄である「審判員」も要員不足と高齢化が際立ち、藤沢に限らず全国的な問題となっているのが現実であり、若手審判員の投入と育成が急務である。*****審判員募集中！！*****

（中溝）